# 第２学年　数学

## ○学習の目標

・与えられた課題に対して、自ら解決する学習活動を取り入れ、教え合う場面を通して、その根拠を説明したり、表現したりすることで、論理的な思考力や表現力を育成する。
・反復学習を多く取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能を伸ばす。

## ○教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

☆　生徒の学ぶ過程を重視し、「できた！」、「わかった！」という喜びを味わえる授業
☆　生徒一人ひとりの学習状況を的確に把握しながら、個に応じた指導の充実を図る授業
☆　教え合い活動を通して、互いを認め合い・高め合う意識を向上させる授業

## ○年間指導計画

| 学期 | 分野 |
|---|---|
| 1学期 | １章　式の計算<br>１．式の計算<br>２．文字式の利用<br>２章　連立方程式<br>１．連立方程式<br>２．連立方程式の利用 |
| 2学期 | ３章　一次関数<br>１．一次関数とグラフ<br>２．一次関数と方程式<br>３．一次関数の利用<br>４章　図形の調べ方<br>１．平行と合同<br>２．証明<br>５章　図形の性質と証明<br>１．三角形 |
| 3学期 | ５章　図形の性質と証明<br>２．四角形<br>６章　確率<br>１．場合の数と確率<br>７章　箱ひげ図とデータの活用<br>１．箱ひげ図 |
| 授業時数１０５時間（テストを含む） | |

## ○学習を効果的に進めるため、家庭にお願いしたいこと

◇予習は、前年度までに学習した数学（算数）の内容を単元ごとに復習する。
◇学んだことはその日のうちに復習する。
※上記のため、家庭学習の時間を確保できるように家庭でもご配慮ください。

## ○学習の仕方

○　教科書やノートを確認しながら、ワーク等の問題に取り組みましょう。
○　上記でもわからない場合は、先生や友達に聞きましょう。
○　最終的に自分一人で解けるようになるまで、繰り返し正解に至る方法や式を書いて身につけましょう。

## ○観点別評価と評価の観点、評価の方法

■観点
①知識・技能
②思考・判断・表現
③主体的に学習に取り組む態度

■評価方法
①②について
・主に定期テストを通して評価する。
・授業における発言やプリントなども含め、総合的に評価する。
③について
・主に授業を通して課題に取り組む姿勢とその成果を評価する。